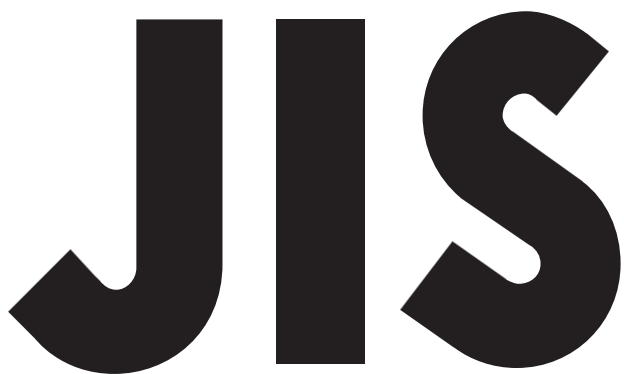




土工機械－安全－第 3 部：ローダの要求事項

JIS A 8340-3 : 2023

(JCMA/JSA)

令和 5 年 12 月 25 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	松 橋 隆 治	東京大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	清 家 剛	東京大学
	高 辻 利 之	株式会社 AIST Solutions
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	千 葉 光 一	関西学院大学
	中 川 梓	一般財団法人日本規格協会
	久 田 真	東北大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	神戸大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
	山 田 陽 滋	豊田工業高等専門学校

主 務 大 臣：厚生労働大臣，経済産業大臣 制定：平成 19.3.25 改正：令和 5.12.25

官 報 掲 載 日：令和 5.12.25

原 案 作 成 者：一般社団法人日本建設機械施工協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-5776-7858)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省労働基準局 安全衛生部安全課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本産業規格は，産業標準化法の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	3
4 安全要求事項及び安全方策	4
4.1 一般	4
4.2 後窓	4
4.3 運転員の保護装置	4
4.4 安定性	5
5 使用上の情報	8
附属書 A（参考）ローダの代表的な機種例	9
附属書 JA（参考）ローダ特有の重要な危険源のリスト	14
附属書 JB（規定）非爆発環境下の地下作業に用いるローダに対する要求事項	15
参考文献	16
附属書 JC（参考）JIS と対応国際規格との対比表	17
解 説	19

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本建設機械施工協会（JCMA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS A 8340-3:2012** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。厚生労働大臣、経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS A 8340 規格群（土工機械－安全）は、次に示す部で構成する。

JIS A 8340-1 第 1 部：一般要求事項

JIS A 8340-2 第 2 部：ブルドーザの要求事項

JIS A 8340-3 第 3 部：ローダの要求事項

JIS A 8340-4 第 4 部：油圧ショベルの要求事項

JIS A 8340-5 第 5 部：ダンプ（重ダンプトラック及び不整地運搬車）の要求事項

JIS A 8340-6 第 6 部：機械式ショベルの要求事項

JIS A 8340-7 第 7 部：グレーダの要求事項

土工機械—安全—第 3 部：ローダの要求事項

Earth-moving machinery—Safety—Part 3: Requirements for loaders

序文

この規格は、**JIS B 9700**（機械類の安全性—設計のための一般原則—リスクアセスメント及びリスク低減）のまえがきで示されたタイプ C 規格（個別機械安全規格）である。

このタイプ C 規格の規定がタイプ A 規格又はタイプ B 規格の規定と異なる場合、このタイプ C 規格の規定がそれらの規格の規定に優先する。

関連する機械類及び対象とする危険源、危険状態及び危険事象の範囲は、この規格の適用範囲に示す。

この規格は、2017 年に第 2 版として発行された **ISO 20474-3** を基とし、我が国の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、細分箇条番号及び図の番号の後に“A”から始まるラテン文字の大文字を付記した細分箇条及び図並びに**附属書 JA** 及び**附属書 JB** は、対応国際規格にはない事項である。また、点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JC** に示す。

1 適用範囲

この規格は、**ISO 6165** に定義されるローダの安全要求事項について規定する。

この規格は、ローダの派生機械にも適用可能である。ただし、除雪用に一部改造したホイールローダに、スノーブラウなどを装備した除雪機械（除雪ドーザ）には、適用しない。

この規格は、土工機械類に共通の安全要求事項を規定した **JIS A 8340-1:2022** と併せて用いるが、この規格で規定した事項は、**JIS A 8340-1:2022** に優先する。

この規格は、製造業者が意図した使用及び予見し得る誤使用の条件下で、直接関わる全てのローダ特有の重要な危険源、危険状態及び危険事象を扱う。この規格は、稼働、運転及び保守中の重要な危険源、危険状態及び危険事象から起こるリスクを除去、又は低減するための適切な技術的手段を具体的に示している。

この規格は、公示日以前に製造された機械には適用しない。

注記 1 除雪ドーザの安全要求事項は、**JIS A 8511** に規定されている。

注記 2 公道を走行するローダは、国及び地方自治体の定める道路交通関連法規にも適合しなければならないとされている。

注記 3 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。